



2026年5月21日

各位

会社名 クリングルファーマ株式会社
住所 大阪市北区中之島四丁目3番51号
Nakanoshima Gross 未来医療 R&D センター10階
代表者名 代表取締役社長 安達喜一
(コード番号: 4884 東証グロース)
問い合わせ先 取締役経営管理部長 村上浩一
TEL. 06-7653-6728

当社社長の安達喜一が日本バイオテック協議会の会長に就任

当社は、この度、代表取締役社長の安達喜一が一般社団法人日本バイオテック協議会の会長に就任いたしましたので、お知らせいたします。

安達喜一は次のようにコメントしております。

「この度の就任を大変光栄に存じますとともに、その責任の重さを強く認識しております。我が国の創薬力の強化及びバイオ産業の競争力向上が重要な課題と認識しており、会員各社並びに関係機関との連携を一層強化し、官民対話や実効性のある政策提言を通じて、日本発のイノベーション創出と国際競争力の向上に貢献してまいります。また、制度整備や国際連携の推進により、革新的な医療を確実に患者さんへ届ける産業基盤の強化に努めてまいります。」

以上

日本バイオテック協議会について <http://samurai-biotech.jp/>

官民対話を通じてバイオテックの推進を図り、我が国の医療への貢献並びに医療産業及び会員各社の健全な発展に寄与することを目的とし、2009年7月にバイオテック関連企業20社が結集して任意団体として設立され、その後、2019年4月に一般社団法人化されました。

2026年3月末現在、会員数は45社（正会員40社、賛助会員5社）を数え、会員各社は、国民経済や国家財政と深く関わりあいながら、医薬品、医療機器、再生医療等製品、医療技術など、医療分野のイノベーションに積極的に取り組んでいます。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象にHGFタンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、HGFタンパク質医薬品のレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする第Ⅲ相臨床試験を終了し、さらに追加臨床試験に向けた準備を進めています。また、声帯癒痕を対象とする開発は第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

当社は、HGFタンパク質医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。